

主日礼拝

2024年10月27日
午前10時30分

前奏 「アダムの墮落によって」
(D.ブクステフーデ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「神よ、わたしを憐れんでください
御慈しみをもって。
深い御憐れみをもって
背きの罪をぬぐってください。
わたしの咎をことごとく洗い
罪から清めてください。」 (詩編 51:3,4)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ち ち 子 せ い れ い の ひ と り の 主 よ、 さ か え と ち
か ら は た だ 主 に あ れ、 と こ し え ま で。

アーメン。

交読詩編 51:12~19

司式者：神よ、わたしの内に清い心を創造し
 会衆：新しく確かな霊を授けてください。
 司式者：御前からわたしを退けず
 会衆：あなたの聖なる霊を取り上げないでください。
 司式者：御救いの喜びを再びわたしに味わわせ
 会衆：自由の霊によって支えてください。
 司式者：わたしはあなたの道を教えます
 あなたに背いている者に
 会衆：罪人が御もとに立ち帰るように。
 司式者：神よ、わたしの救いの神よ
 流血の災いからわたしを救い出してください。
 会衆：恵みの御業をこの舌は喜び歌います。
 司式者：主よ、わたしの唇を開いてください
 会衆：この口はあなたの賛美を歌います。
 司式者：もしいけにえがあなたに喜ばれ
 焼き尽くす献げ物が御旨にかなうのなら
 会衆：わたしはそれをささげます。
 しかし、神の求めるいけにえは打ち砕かれた霊。
 一同：打ち砕かれ悔いる心を
 神よ、あなたは侮られません。

賛美 21-1,2 「主をほめたたえよ」

Thandhaani thudhippomee THUDHI (TANDANEI)
詞：V. Maasilamaani, 1858?-1932 曲：V. Maasilamaani, 1858?-1932

1 主をほめたたえよ。 うたえハレルヤ。
 2 主のすくいをしれ。 十字架のうえで
 よろこびをもて主をほめたたえよ。
 なしとげられた主のすくいをしれ。
 手をうちつつことをならせうたえほめよかみのみわざ。
 おおきなあいつくしみで主はあなたをみいだされた。
 みわざ。主をほめたたえよ。
 された。主をほめたたえよ。

1 主をほめたたえよ。 歌えハレルヤ。 2 主の救いをしれ。
 喜びをもて 十字架の上で 成し遂げられた
 主の救いをしれ。
 手をうちつつ ことをならせ、
 歌え ほめよ 神のみわざ。
 主をほめたたえよ。 主はあなたをみいだされた。
 主をほめたたえよ。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
 ねがわくは み名をあげさせたまえ。
 み国を来らせたまえ。
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ。
 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
 我らの罪をもゆるしたまえ。
 我らをこころみにあわせず、
 悪より救い出したまえ。
 国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
 なればなり。
 アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエエレイソン キリエエレイソン
 しゅよあわれみを しゅよあわれみを
 キリエエレイソン
 しゅよあわれ - - イソソ
 を

聖書 創世記 3:1~15 旧約(新共同訳)P3~P4

1 主なる神が造られた野の生き物のうちで、最も賢いのは蛇であった。蛇は女に言った。

「園のどの木からも食べてはいけない、などと神は言われたのか。」

2 女は蛇に答えた。

「わたしたちは園の木の果実を食べてもよいのです。」

3 でも、園の中央に生えている木の果実だけは、食べてはいけない、触れてもいけない、死んではいけないから、と神様はおっしゃいました。」

4 蛇は女に言った。

「決して死ぬことはない。5 それを食べると、目が開け、神のように善悪を知るものとなることを神はご存じなのだ。」

6 女が見ると、その木はいかにもおいしそうで、目を引き付け、賢くなるように唆していた。女は実を取って食べ、一緒にいた男にも渡したので、彼も食べた。7 二人の目は開け、自分たちが裸であることを知り、二人はいちじくの葉をつづり合わせ、腰を覆うものとした。

8 その日、風の吹くころ、主なる神が園の中を歩く音が聞こえてきた。アダムと女が、主なる神の顔を避けて、園の木の間に隠れると、9 主なる神はアダムを呼ばれた。

「どこにいるのか。」

10 彼は答えた。

「あなたの足音が園の中に聞こえたので、恐ろしくなり、隠れております。わたしは裸ですから。」

11 神は言われた。

「お前が裸であることを誰が告げたのか。取って食べるなど命じた木から食べたのか。」

12 アダムは答えた。

「あなたがわたしと共にいるようにしてくださった女が、木から取って与えたので、食べました。」

13 主なる神は女に向かって言われた。

「何ということをしたのか。」

女は答えた。

「蛇がだましたので、食べてしまいました。」

14 主なる神は、蛇に向かって言われた。

「このようなことをしたお前はあらゆる家畜、あらゆる野の獣の中で呪われるものとなった。

お前は、生涯這いまわり、塵を食らう。

15 お前と女、お前の子孫と女の子孫の間にわたしは敵意を置く。

彼はお前の頭を砕き

お前は彼のかかとを砕く。」

賛美 358 「小羊をばほめたたえよ！」

Crown Him with many crowns 調：Matthew Bridges, 1800-1894 DIADEMATA 曲：George J. Elvey, 1816-1893

ごひつじをばほめたたえよ！
たえなるうたごえてんにみちて。
かみのたまよ、めぐみの主に
さかえのかむりをささげうたわん。

- | | |
|--|---|
| 1 小羊をばほめたたえよ！
たえなる歌声 天に満ちて。
神の民よ、恵みの主に
栄えの冠を ささげ歌わん。 | 3 いのちの主をほめたたえよ！
死をほろぼしたる 力の主を。
神の民よ 復活の主に
栄えの冠を ささげ歌わん。 |
| 2 主なるイエスをほめたたえよ！
我らの苦しみ 負いしイエスを。
十字架の血の 救いの主に
栄えの冠を ささげ歌わん。 | 4 主なるイエスをほめたたえよ！
すべてを治める 支配の主を。
とわにいます 平和の主に
栄えの冠を ささげ歌わん。 |

説教 「あなたはどこにいるのか」

賛美 444 「気づかせてください」

詞：木原葉子, 1964- 曲：米野みちよ, 1968-

1 きづかせてください、 しらずにおかした つみ-を。
2 うけさせてください、 あなたのまことの いの-ち。 >
3 あゆませてください、 まことのへいわの みち-を。
あたえてください、 つみをみつめる ちからを。
> きかせてください、 あたらしいあいの うたを。 >
かたせてください、 ふせいとあくの せかいに。
た たせて ください、 あの となりびとのまえに。 そして
> あ わせて ください、 また あの-となりびとに。 そして
生 かして ください、 かみ のこどもたちとして。 とともに
たっ て くだ さい、 主よ、 わたしたちのあいだ に。
> たっ て くだ さい、 主よ、 わたしたちのあいだ に。
たっ て くだ さい、 主よ、 わたしたちのあいだ に。

- | | |
|--|--|
| 1 気づかせてください、しらずに犯した罪を。
与えてください、罪を見つめる力を。
立たせてください、あの隣り人の前に。
そして立ってください、主よ、
わたしたちの間に。 | 2 受けさせてください、あなたの真のいのち。
聞かせてください、新しい愛の歌を。
会わせてください、またあの隣り人に。
そして立ってください、主よ、
わたしたちの間に。 |
| 3 歩ませてください、真の平和の道を。
勝たせてください、不正と悪の世界に。
生かしてください、神の子どもたちとして。
共に立ってください、主よ、
わたしたちの間に。 | |

派遣

- | | |
|-----|------------------------------|
| 司式者 | 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」 |
| 会衆 | わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。 |

祝祷

アーメン



後奏 「神よ、わたしを憐れんでください」
(E.フェランテ)

司式 山野上 純子
説教 向井 希夫牧師
奏楽 大代 恵

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。

※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。